

目指せ！多摩地区ベスト1

多摩地区30市町村ランキング

可燃ごみ	不燃ごみ	総ごみ	リサイクル率
ベスト1 小金井市 (前年) ↓ 日野市 419.3g 1 ランクダウンの 4 位 ワースト1	ベスト1 羽村市 (前年) ↓ 日野市 91.2g 2 ランクダウンの 27 位 ワースト1	ベスト1 小金井市 (前年) ↓ 日野市 697.4g 1 ランクダウンの 8 位 ワースト1	ベスト1 小金井市 (前年) ↑ 日野市 36.6% 1 ランクアップの 16 位 ワースト1

※数字・順位は東京市町村自治調査会調べ

平成22年度のごみ量報告 ありがとうございます！そして、さらに頑張りましょう！

一人1日当たりのごみ量700gを割る！

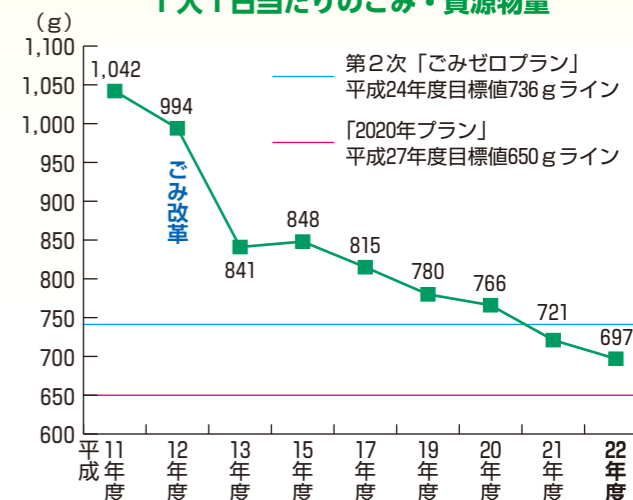


平成22年度の市民一人1日当たりの総ごみ量（資源物や持込ごみ量を含む）は、697gとなりました。平成21年度と比較すると24g減となり、平成12年のごみ改革後最少のごみ量になりました。

また、平成21年度より人口が約1%増えたにもかかわらず、総ごみ量は約2.6%、1千208ト減って4万5千236トになりました。その内、資源物は全体で3%減量することができました。特に、昨年4月から開始した「容器包装お返し大作戦」の成果は右図のとおりで、約3割の減量に成功しました。これは、皆さんが日頃からごみと資源物の減量について高い意識を持ち、努力された結果です。ご協力ありがとうございました。

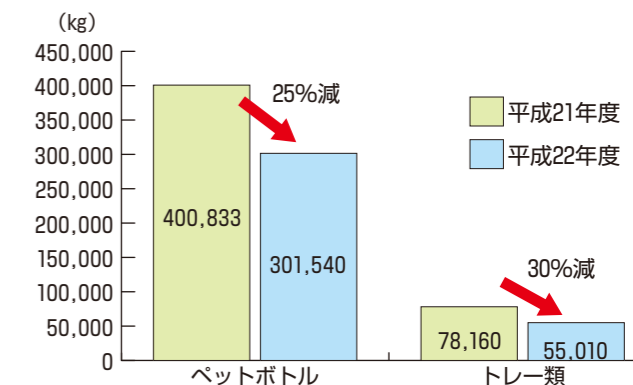
「ごみ改革」後、最少の排出量

1人1日当たりのごみ・資源物量



「容器包装お返し大作戦！」の成果

市の処理量(容器包装リサイクル協会への引き渡し量)



多摩地区30市町村のランキング(平成22年度)

しかし、目標はさらに上です。市民参画で策定した「環境基本計画」では、一人1日当たりの排出量が平成22年度に多摩地域で一番少ない自治体になろうという目標を掲げていますが、第1位との差は約76gもあります。各自治体も努力している中で、多摩地域のランキングで日野市の順位は下がっています。

今後も、下記のワンポイントアドバイスを参考に、一人1日さらに100gのごみと資源物の減量にご協力をお願いします。



可燃ごみ 家庭から出るごみ・資源物の56%が「可燃ごみ」。その半分が「生ごみ」です。

生ごみの減量は「食材を買い過ぎない」「食べ残さない」「水分を絞る」など、ちょっとした工夫ですぐにでも始められます。また、「たい肥化容器」を使うことも有効。本誌8面に新しい容器を紹介していますのでご覧ください。



不燃ごみ 不燃ごみの大半を占めるのが「ビニール・プラスチック類」です。資源物としてお店にお返しできるものや、市の資源物回収に出せるものを、ごみにしてしまってもったいない！

上記の「ランキング表」で判るように、日野市は不燃ごみ量が多い自治体です。分別徹底をしっかりと行ないましょう。

【レジ袋を断る】 1世帯当たり年間600枚も使用されると言われているレジ袋。これは、日野市全体ではなんと年間4,800万枚も使われている計算になります。「ごみになるものを断る」ことは、ごみ減量の中で一番大事なことです。お買い物には「マイバッグ」を持って行き、レジ袋を断りましょう。



あと100g!

出来ることからチャレンジを

さらに減量するためのワンポイント



粗大ごみ 大震災をきっかけに、室内の片付けを行なう方が増えているようで、粗大ごみの収集量が前年度より多くなる傾向にあります。廃棄する前に、リユース（再使用）できないか考えてみてください。まだ使える家具などを引き取る「リサイクル事務所」も大きな味方。詳しくは「ごみ・資源分別カレンダー」を参照してください。



ペットボトル ペットボトルは便利な製品ですが、製造にもリサイクルにも多くのエネルギーと費用を要します。水筒やマイポットを使用すれば、ペットボトルの使用量を減らせます。

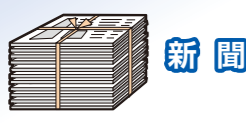
また、買ったお店の回収ボックスにお返しする場合も市の回収に出す場合も、ルールをしっかりと守ってリサイクルできるように努めましょう。



【量り売りで買う】 食品などで量り売りをしていたら、積極的に利用しましょう。余分なトレーやポリ袋などを減らすことができます。容器包装は、使い捨てなのでまず最初に減らしたいごみです。

【詰め替え商品を選ぶ】 容器がまだ使える場合は、詰め替え商品を購入して再利用し、容器の無駄をなくしましょう。

【ルールを守ってお返し・排出を】 買ったお店の回収ボックスにお返しする場合も市の回収に出す場合も、それぞれのルールを守ってください。ルール違反の排出は、その是正のためにエネルギーや費用を浪費し、結果的にごみを増やすことにもつながってしまいます。



新聞 市民1人1日当たりのごみ量を減らすためには、新聞紙を販売店による回収や、子ども会・老人クラブなどが実施している集団回収に出すことが有効です。新聞はチラシも含めると1日分約400gもあります。なるべく販売店回収・集団回収をご利用ください。その際も、ルールをしっかりと守ってください。